

SHARP

シャープ社友会 栃木支部会報

第23号

nikko

2009.1.1 発行
発行責任者 岩村 博

<http://tcg-syayu.web.infoseek.co.jp/index.html>



撮影 志賀 実 (会員番号 1080)

新年明けまして

おめでとうございます御座います

支部長 岩村 博



新年明けましておめでとう御座います。会員の皆さん如何お過ごしでしょうか、何時までも充実した日々で有ります様願っております。

総会後、皆様のご協力により「支部会報・支部設立二十周年記念号の発行」「カラオケ同好会設立」「サマーフェスティバル・チャリティーバザー」出店「支部設立二十周年記念行事」「ホームページの充実」「シャープグリーンクラブ(SGC)の活動」「会報(日光)の継続発行」等々が実施できました。

今年度も各行事の取り組みについては、副支部長と幹事で構成する推進委員会で実施に向けた具体的検討をお願い致しました。

六月十日(火)カラオケ同好会が発足しました。私はクラブを増して会員の皆さんが共に楽しく過ごす機会を作りたいと言つ思っていました。会員の皆さん、是非カラオケ同好会で楽しんで下さい。

七月二十六日(土)恒例のシャープサマーフェスティバルが盛大に開催されました。この催しも会を重ねて二十回を数えることになりました。私達、社友会は今も皆さんのご協力により愛のチャリティーバザーの出店が出来ました。チャリティーカンパ金・提供頂いたバザーの品物は完売出来、皆さんの協賛に感謝申し上げます。また、幹事の皆さんには何日も掛けて集めて頂きました。

感謝 感謝です。バザーの売上金とカンパ金・会場で募金の合計七万八千七百三十二円は矢板市社会福祉協議会へ寄付致しました。昨年も、このサマーフェスティバルには多くの会員と家族のご来場があり、会場で顔を合わせる事が出来ました。

十月七日(火)大安の日に設立二十周年記念行事(植樹祭)を会員二十八名・会社代表山下総務部長、労組代表印南委員長の出席を頂き、出席者全員がスコップで土盛を行い植樹祭(つげの木)が出来ました。

支部設立から二十年間夫々で尽力頂きました方々に心より感謝申し上げます。

秋に実施してありました懇親旅行は「春の花見」を実施する事が推進委員会で検討されています。具体的に実施計画案が纏まった時に改めて皆さんにご案内いたします。今後も社友会の運営に会員皆さんのご協力をお願い申し上げます。

二〇〇九年を迎えて

常務執行役員 大型液晶事業統轄兼

AVシステム事業本部長 廣部俊彦



新年明けましておめでとうございます。

シャープ社友会栃木支部の皆様方には、清々しい新春を、お迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃は、シャープ製品の愛用や当社社員に対するご指導・ご鞭撻等、大変お世話になり会社を代表し厚くお礼申し上げます。

昨年は、米国発の金融危機の影響により、比較的堅調と言われた日本経済も、株価下落・円高などの影響で消費の落ち込みが劇的に進むこととなりました。今後の景気回復には少なくとも1~2年は要するとの見方もあり、当社にとりましても先行きは予断を許さない状況にあります。

この様な経済環境の中、当社は、昨年、「コスト革新原点帰帰キャンペーン」や「世界経済異常事態宣言」を行い、いち早く「原価低減・経費削減活動の推進」「垂直統合戦略の強化」等に取り組んで参りました。今年も引き続き継続し、いたずらに規模を追わない、堅実な事業活動に徹して収益の改善に努めて参ります。

AVシステム事業本部では、世界初ブルーレイ内蔵液晶テレビ『AQUOS・DXシリーズ』やテレビコントラスト比100万分の1以上のメガコントラストを達成した『AQUOS・XSシリーズ』を発表しましたが、今年もこれに続く「オンリーワン商品」創出に取り組んで参ります。AV事業の更なる拡充と強化に向け、全従業員が一丸となって、AVシステム事業本部を世界のシャープに相応しい事業体になすべく邁進してまいります。

社友会の皆様方におかれましては、従前にも増して液晶テレビAQUOSやAQUOSブルーレイ等の周辺機器に対するご愛顧とご支援ご指導をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら、シャープ社友会栃木支部の益々のご発展と、会員皆様方のご健勝とご多幸を、祈念申し上げます。この挨拶とさせていただきます。

2009年 社友会 新春のご挨拶

シャープ労働組合 栃木支部

執行委員長

印南 幸裕



新年あけましておめでとございます。

社友会栃木支部の皆様方には、希望に溢れた新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

日頃は、岩村支部長をはじめ多くの皆様に労働組合の活動に對しまして、ご理解と協力を頂いている事に心より感謝申し上げます。

栃木支部では、昨年十一月一日に行われました、矢板市の市制施行五十周年記念事業の中で、これまで継続的に行ってきた、従業員による年末のカンパ金で矢板市を中心とした福祉施設等への液晶テレビやDVD、ビデオなどのシャープ製品を寄贈する運動が評価をされました。

矢板市からは、長年のシャープの寄贈活動が『地域の福祉向上につながった』ということから特別表彰を戴くことが出来ました。諸先輩の皆様方の協

力に感謝申し上げます。

このところの国内経済は、サブプライムローンの全世界的な影響から株価の下落、ドル安、円高などバブル崩壊時の状況を越える厳しい状況が続いています。また、アメリカ、ヨーロッパ、日本のGDPがマイナス成長と全世界同時不況と悪化し続いています。

このような中で、矢板工場では環境に対する意識の高まりや高画質・高品質、総合的な単価ダウンなどから、ブランドイメージが高くなった液晶テレビ「アクオス」が順調な生産の拡大を続けていますが、円高、ドル安に對抗できるコスト競争力のある商品の創出が求められています。

労働組合の活動も変革が求められていますが、諸先輩が築いていただいた道しるべを大切にしながら活動を進めてまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

シャープ社友会栃木支部の益々の発展と会員皆様のご健勝を心からご祈念申し上げます。本年もよろしく申し上げます。

矢板市議会 議員

中村 ひなのぶ

新年明けましておめでとございます。

社友会の皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日頃より、浦川顧問、岩村支部長をはじめ会員の皆様のご支援、ご指導を賜り心より御礼申し上げます。

私も二期目を迎え更に活動の幅を広げ、質を高め皆様のご期待に応えるべく毎日力いっぱい頑張っています。

昨年は矢板市の玄関である「矢板駅前整備」や地域住民にとって必要な「塩谷総合病院の存続」、待たなして行なわなければならない環境問題に取り組むための「環境都市宣言」、矛盾点が多く見直しが必要な「後期高齢者医療制度」、将来を担う子どもたちの育成のための「こども議会」などに取り組んでまいりました。

現在の矢板市には、塩谷総合病院の存続問題など多くの課題があります。今後皆様のご代表として、皆様方が築いてこられましたシャープの名を汚すことの無い様、また、名に恥じない活動を肝に銘じ、皆様のご期待に応えるべく『夢と笑顔のあるまちづくり』に向け全力投球してまいります。

引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



出会い【人は邂逅し開眼し瞑目する】 貝塚 恒夫



太田教授との縁

二〇〇四年息子がゼミの太田将勝教授に教育実習の為、アメリカニューヨークに連れて行って頂いた。当教授はニューヨークに別荘を持っておられる(聞けば父上は外交官だった)。息子は十日程ここで教授の奥様にも大変お世話になった。時は新潟地震の真只中であった。帰国後、私はお世話になったお礼に地元の酒を送った。これが意外、「こういふ物は受け取れない」とお断りの丁寧な手紙が届いた。当時、私の頭は真っ白になった。しかし、その真摯な態度に心惹かれるものを覚えた。帰国間もなく当教授から息子に油絵の個展のお誘いがあり、年末年始もなく絵を描き続ける、またとない機会を頂いた。二〇〇五年四月春爛漫、高田公園の桜満開の上越で油絵の個展が開催された。おりしも息子二十四歳、私が油絵の個展をやった時も二十四歳であった。

息子油絵個展祝賀会

個展を見る為、四月十六日上越を二・三男の息子と共に訪れる。当日太田教授は新潟市で講演中であった。そんな多忙の折、教授は新潟から高速道路を飛ばして駆け付け、関係者を集めて居酒屋で個展の祝賀会を開催してくれた。酒の席で初めて太田教授と心を通じ合うことが出来、私は太田教授の男気にすっかり惚れ込んでしまった。そんなことから教授との交流が始まった。教授は東洋美術史、芸術教育

論、美術教育史を専門とされているが、和歌山・富山県立近代美術館の主宰学芸員も歴任されている。また、上越の町おこし運動にも芸術を通して力を注いでいた。私の絵のころと、多少美術を知っているのであい通じるものがあつた。

詩人国見修二氏との出会い

その年の十月教授からのお誘いがあり、上越で酒を飲むことになった。その折、教授より国見修二氏(詩人)・渡部等(画家)・松井芳雄(建築デザイナー)を紹介される。酒の席では皆があつという間に融合し、その後交流が続くことになる。その折、国見先生(私の詩の師事と言つことで先生と呼ばして頂く)に、酒の勢いで偉大な詩人とも知らず、私の詩を見てもらえますか、と口走つた。『いいですよ、何時でも送つてらっしゃい』と言つた。国見先生は、気さくで趣向も剣道(六段錬士)、溪流釣り等共通するものがあつた。また、驚く事に誕生日が同じであった(発行日の時判明)。

その後、国見先生との詩のメールのやり取りが始まった。約週に一篇の割合で国見先生に詩を送り続けた。十ヶ月後(八月)また、上越で酒を飲む機会があつた。その折、国見先生と渡部さんに詩集を出すよう勧められる。一年足らずで一〇〇篇以上の詩が出来ていた。その頃の私はメモ帳を持参、感じたこと、見たことをメモし所構わず詩の創作に励んでいた。二〇〇六年の十二月に原稿をまとめることで話は進んでいたが、出来あがつたのは二〇〇七年の二月であつた。昨年(約四ヶ月)あまり会社から帰って詩の見直し等夜中二・三時の推敲の日々が続い

た。妻からは『遺集を書いている』んではないかと言われた。二〇〇七年五月初旬、待望の処女詩集『若き日の残照』が誕生日の五月十三日発行されるに到つた。五月下旬福島高湯温泉(安達屋)で太田教授、国見先生、渡部さん、樋口さんで出版祝賀会を開いて頂いた。温泉に浸かつて気の合つ仲間と詩集の完成で飲む酒はこの上もなく格別であつた。

その後の出会いと活動

現在は、矢板市にお住まいの現代詩人石下典子氏(国内きつての女流詩人『神の指紋』は必見)のお勧めにより、下野新聞のしもつけ文芸に投稿中です。昨年の末から七回ほど掲載される。また、しもつけ文芸の詩の選者、山本十四尾先生ともお付き合い頂き茨城の古河文学館で開催される詩の勉強会に参加しています。今年の十一月発行予定の美術画報六〇号に詩『シアトル美術館にて』が掲載される。また、詩集『大空襲・三一〇人詩集』二〇〇九年三月発行に掲載予定。と、詩の創作活動に傾注しております。

ましまめ

今までは、会社人間で狭い空間での付き合いでありましたが、太田教授からの出会いから始まり、国見先生という詩人に会い、詩集を発行するに至り、更に現在は茨城や県内の多くの詩人との出会いがあります。定年退職後も写真や絵画そして詩の創作活動と、新たな世界で日々人生を送っております。これまた人との出会い、縁、邂逅があつたればこそ、今まではない世界、空間が開けたと思っております。誠に人との出会いとは摩訶不思議なもので心から感謝と喜びを禁じ得ません。

今後とも精進を重ね、人の心、琴線を振るわせる様な詩を紡いで、第二詩集が発行出来る様努力致したいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

けさの顔



(下野新聞 2007年5月23日掲載)

まるいちゃぶ台

昔 まるいちゃぶ台は
家の中の中心だった
皆ここで顔を突き合わせる
少ない食べ物競争って食べた
父母の愛のなかで育っていった

今 まるいちゃぶ台はすてられ
ありあまる食べ物テーブルにある
子供たちはテーブルに背を向けて
テレビゲームに興じている
父母は仕事と情報に追いまわされてくたくた

若い世代の親たちよ
まるいちゃぶ台をおいてくれないか
一日一回 田居の楽しさを味わってくれないか



蛙

むかしはどの畦道を越えて行くことも
他の世界を眺めることが出来ました
今はアスファルトの道を越えようとすれば
自動車に轢かれます
田にこやししか撒かれることが無かった頃
蛙たちは目を大きく輝かせていました
人間の共生がしぜんにありました

今は田畑に農薬が撒かれ
何年も何年も続いて農薬に慣れましたが
時々
農薬の害が奇妙な形をした仲間を作ります
しかし 蛙たちは
喋ることが出来ないため
生気のない声で鳴くばかりです
皆から蔑まれ 後ろ指さされ
棘の道に独り佇み
水に映った姿を見ては
青空の彼方をみつめるばかりです



団塊列車

二度と来ることのない青春
長き旅を終えた列車が
ビルに囲まれたターミナルに
身を横たえている
やがてビルの谷間から
太陽が昇り
ターミナルに光りが射す時
その長き身を奮いたたせ
また 列車はゆっくりとゆっくりと
ターミナルを去る

街で若者たちを誘い
村々で老人を乗せ
夢と希望を載せて
ただひた走る
昔懐かしい風景に
時おり涙をちぎらせて
それでも新しき出会いに感激し
列車はスピードを増す
ひたすらに
日本中の街を村を走ってる



『夢』

福永勝行

夢とは思いつけるが必ず叶うと云う伝説が、芸能人やアパレルの間でよく耳にし、テレビ等で紹介されているが、私自身にも、子供の頃に描いた夢が、高校卒業してわずか一ヶ月で実現しようとは全く信じられず今もって驚きを隠せないが、良き友とシャープに入社出来た幸運と神様の導きによるものと感謝しています。実話として皆さんに披露致したく。

子供の頃の事なので記憶は定かでは有りませんが、滋賀県で育った私の地元、八日市(現東近江市)に白黒テレビが出現したのは、小学五年生の頃だった様に思います。当時はプロレの力道山、大村昆の番頭はんと下種とん、野球中継等が大人気で、自宅にテレビの無い小生は近くの食堂や隣家へ行き、物凄く感動と興奮を覚え、子供心に、これからの時代は、テレビを理解出来る電気技術者でないと、世の中に通用しないのでは、と思いついて得意の図画工作では飯が食えないので、先生が勧められた絵画の道はあきらめ、技術者を目指し中学に入つて猛勉強を始め、当時、県内唯一の工業高校電気科に向け、県立二校志願を貰いて、入試合格に漕ぎつけました。

しかしながら、中学校で頑張った反動で油断したらしく高校進学後、余り勉強しなかつた為、成績は振るわず二年生になると、夏休み前から就職活動に入りましたが、一流企業を目指すには少し難しい状況でした。大阪で松下電器の冷蔵庫メーカー勤務の叔父を介して大手の面接試験を受けた結果、人生初の不合格となり

一学期に入り、学校推薦で早川電機を受け、同校から三人が入社内定したので、ホッとひと安心。面接で希望した仕事は、電気設計製図でした。会社から発表された配属先は三人共、営業部外勤サービス係と云う予想外の結果でありましたが、会社が決めた人事に従つて頑張る決意を致しました。

高校の卒業式は三月初めに終え、入社式まで約一ヶ月をどの様に過ごそうかと迷っていた時にアマチュア無線をやっていた同級生の友達からオーム社製『テレビ受信機の基礎』が発売された事を教えられ、早速、京都の書店に出掛けて買い求め、コタツにあたりながら、むさぼる様に読み始めました。兎に角、一回読んだ判らなくても二、三回読めば何とかなるだろうと云った軽い気持ちで教科書より厚い本を読んだ事がない私が分厚い書物を広げていましたが、これが自分の人生を左右する決め手になることは全く予測しておらず、全国から集まった同期入社者の約五十名がサービス研修として午前中はテレビ、電化製品の基礎、午後は工場実習、夕方から自動車教習所通いと云つたハードスケジュールに突入。学校では教わらなかつたテレビの基礎技術を受講する事になりました。また、車の免許を取る事は想定外でしたが交通事故が多発している状況下では寿命の縮まる思いで生命保険に絶対入る必要性を痛感させられました。

前述の通り、私に於けるテレビ研修は入社前の予習と会社の研修が復習となつて、同期入社者の者から一歩先を走りかなり理解出来た様です。全員が自動車免許を取得し、全国へ散らばつて行きましたが、滋賀県内に営業所のない同級生は二人が三重県に、私は本社に残り、社会人として新たなスタートを切りました。

以上の経過によって、私の最初の夢「テレビの判る電気技術者」が誕生。配属当初は大阪営業所の先輩諸

氏に同行して実務面の指導を受けて、即戦力として一本立ちをし、北大阪(東淀川・吹田・茨木・高槻)方面を一日約十軒の訪問サービス担当を任せられました。夢が叶った歓びと生まれ故郷の大阪で仕事が出来ると二重の嬉しさで有頂天になり、例え訪問先で買った早々こわれたテレビを持ち帰れ」と怒鳴られても我慢し、直つた時の爽快感で充実した毎日が送れました。当時は人気が出始めたクレージーキャッツのスーダラ節がとても似合う人生となりました。

プロ野球でも即戦力として、開幕からレギュラーになるのは希で、かの有名な王選手でさえ、レギュラーになれたのは入団二三年後、サービスマンの仕事はテレビと家電(洗濯機・冷蔵庫など)に分れ、少なくとも、二三年の家電修理経験後に、適正を見て、就任していたらしく、同校卒の一年先輩も家電修理担当をされ、先輩が入社早々にテレビ修理が出来る新人が来た事で、同僚から自慢され鼻が高かつた様でしたが、社内には職制(主任・組長)でねたむ人が居り飲み会の帰りに、生意気だとなぐられました。新入社員の中には何のこともやらさずサッパリ判らず困惑したものです。

入社早々に自分の夢が叶えられ、次の目標としてマイホームを持つ事に決め二年目からの昇給を働きが悪くて上がらなかつた事にし、二〇〇万円を目ざして社内預金に廻してコツコツと貯金、二十七才で結婚と同時に、会社の融資を利用して家を建て新妻も同時にゲット。運の良い事に、次の年から住宅手当が付加され返済も軽減されました。

子供の頃から、手先の器用な私にとって「サービスマンは天職」と考え東京オリンピックを契機にカラーテレビ需要が急速に拡大する事が予想される為、岩手県盛岡営業所から自らの希望で本社工場のカラーテレビ製造ラインに入り、技術習得後、再びサービスに戻

るつもりで、大阪へ帰りましたが、約一年後に栃木工場展開が決まり、以降、栃木工場で仕上製造ライン・開発・商品企画と云うテレビ関係一筋で担当業務を全うし、四十一才で退職し、次の夢を目指す事になりました。

第二の夢は「小さな子会社の社長(経営者)になる」ことでした。物事を上手に成功させる為には「段取り八分で仕事二分」と云う如く、色々な目標や夢を目指し、着々と準備しておく事が大切ですが、経験が大いに役立つ場合も有り、経営者となる為には事業部の経営に近い企画部で、販売計画・原価計算の仕組みや戦略的思考で市場シェアを拡大して行く手法を教わり、下請け会社との外注政策にて、利益を生み出す方法も知る事で、これが大いに役立つ事でした。又、シャープの外注先で自分の力がどれ位通用するのか?見極める為、シャープ協力会社に再就職し、二次下請けの再建経営を立て直しを行った後、独立して経営者となり、孫請け会社でも正しい経営をする事で、利益も上げる態勢が作れる事を知りました。

人間の欲望には限界が無く、これが毎日繰り返されていますが、天命を全つする迄、夢と希望を持ち続け、前向きに生きて行く事を心掛けたいと思っています。定年退職された方と比べ、二十三年足らずのサラリーマン生活でしたが自分なりに精一杯頑張り、企画では対米外(欧州・中近東・アジア・豪州)担当で地球の三分の二を見て歩き、日本を外から眺める事が出来る「夢」を求め、最後の仕上げに入って行きます。未広がり的人生を願い、私の武勇伝を終えます。

夢はいくら大きくても税金はかかりません。
夢は夢(無)税です。

初老のおじさん

趣味三昧で毎日を楽しむ

荒田 英治

早いもので定年退職いたしましたから、既に半年が経過しました。

最終勤務地は亀山工場でしたが、四年半に亘る単身生活では、アパートのある津市が海に近い事もあり、週末は近くの漁港の堤防での釣りや、月に一度くらいは伊勢・志摩方面へ出掛け遊漁船に乗って、真鯛やイナダ、メバルなどを追っかけていましたね。元もと釣りが趣味だった訳ではないのですが、アウ



トドアスポーツが好きなおともあり、三重で海釣の楽しさを味わいましたので、こちら栃木に帰ってからもう月に一度は茨城の日立港や福島県の小名浜港方面へ出かけ、北関東や東北での海釣りを勉強している所です。この趣味とは別に、七十八年暮れに海外駐在先から帰国したあと始めた「ラジコン模型」遊びは現在も続いており、今は毎日が日曜なので模型飛行機作りに没頭しています。「西那須野フライングクラブ」と云う四十名程の同好の仲間が集まる地元ラジコンクラブに入会しており、過去、クラブ会長を十年近く努めさせて頂きました。二重転勤以降は私のニックネームも「隠居さま」となり、今の自分にピッタリだなあ...と思っております。(笑)

自分で言つのは何なのですが、多少手先が器用な事もあるでしょう。クラブ仲間から模型飛行機の製作を頼まれる事も多く、自分のラジコン機を作るだけに止まらず、仲間の分も引き受けて、毎日「工房」に籠り、素材のバルサを切ったり貼ったりしている毎日ですね。只の板つきれが切出されて、組み立てて飛行機の形になっていく過程を見るのは楽しいもので、会社を退職しても「モノ創り」から離れないようです。

このよつな細かな模型製作に集中していると肩が凝ったりもしますが、何より「ボケ」防止には良いでしょう。家でテレビを観てゴロゴロしている訳ではないので家内も粗大ゴミとは思っていないようです。週末はクラブ仲間と飛行場で談笑するのが楽しみです。夏場は水上飛行機を持って猪苗代湖などに出かけ、湖畔で酒を飲んでキャンピングするのは本当に楽しいものです。これら二つの趣味は私のホームページで公開、毎週の如く更新していますので、「趣味のある方はこちらをご覧ください」。

支部設立二十周年 記念植樹「つげの木」

平成二十年十月七日(火)午前十一時から社友会栃木支部設立二十周年の記念行事として植樹祭を実施した。当日二十八名の会員が参集。会社代表の山下総務部長、労働組合代表の印南委員長にご出席を頂いた。

式は浦川顧問、岩村支部長そして山下部長、印南委員長の鍬入れを戴いた後、出席の会員全員が順次鍬入れを行い、社友会の発展を祈願し無事植樹祭を終えた。植樹後はコミュニケーションホールに移動。昼食会を開催。岩村支部長の挨拶に引き続き山下部長、印南委員長から祝辞の後、恵産業特製幕の内弁当をいただいた。

食事が進むにつれ久しぶりに会った会員同士が再開を喜びあい、和やかなひと時を過ごし散会した。

この二十周年記念行事については、副支部長と幹事で構成する「支部設立二十周年行事推進委員会」を編成。総会での意見を考慮し実施の検討と会社のご協力を取り付けながら委員会・役員会、幹事会で議論を重ね結果今回の記念行事を実施する事になったもの。



植樹した柘植の木

記念樹は「つげの木」で栃木事業所第三工場前の熊鷹稲荷社の横に植えられているので会社に行かれたときには是非一見されるように願っている。

平成元年十一月に四十六名で発足した栃木支部も二十年後には二百八十名を越す大きな組織に発展してきた。これも偏に会員皆様の「ご支援・ご協力」は勿論の事だが、歴代の支部役員・幹事としてクラブ・同好会幹事の方々の「ご苦勞・ご努力」された各位に改めて感謝し、今日まで「ご苦勞・ご努力」された各位に改めて感謝し、また社友会活動に対して会社関係者、労働組合の役員の皆様から多くの「ご支援・ご協力」を頂いて来たことにも心から感謝の意を表わしたい。

今後とも社友会運営に会員各位の一層のご協力を願いたく御願います。
(支部長 岩村 博)

新春衛星中継年賀会

平成二十一年の本社で行われる年賀会の衛星中継が社友会全支部に一月二十二日行われる事になった。

栃木支部では会社の集会所をお借りして受信する事としている。この中継は会社幹部の年頭ご挨拶のほか会社の近況も伺うことも出来るので、会員各位の多くの出席が望まれている。

詳細は別途ご案内

支部年賀会

平成二十一年の支部年賀会は二月一〜二日に会場は鬼怒川観光ホテルにて行われることになった。

新年の喜びを共に寿ぐ機会でもあり多くの会員の出席が望まれている。

詳細は別途ご案内

シャープ・グリーン活動

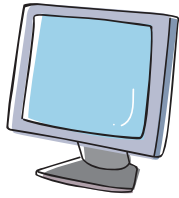
平成二十年六月〜十一月の間、計四回SGC活動にシャープ社員及び、協力会社の社員と、ともにボランティア活動に参加し汗を流しました。

矢板市社会福祉協議会に寄付

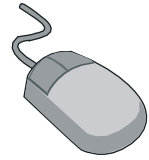
平成二十年七月二十六日に行われた第二十回シャープ・サマーフェスティバルに社友会も参加し、会員から寄せられたバザーの販売・チャリティーカンパを募り、寄贈品の売上金と寄付金をあわせて七万八千七百三十二円を矢板市福祉協議会に寄付しました。



サマーフェスティバルに出店



メビウスクラブ



[入会案内]入会金：不要です

年会費：2,000円 但し、新規入会者は初年度に限り1,000円です

[定例会議]毎月第一水曜日 午前10時～12時まで 於 社友会室

[講習会]月2～3回、午前9時30分～12時まで 於 社友会室

日には、定例会議で調整の上決定します

[テーマ]特定のテーマは決めずに、各自の覚えたいことや問題を会員相互に
教え合う方法でやっています

入会申し込み問い合わせは、事務局 山路規生まで

電話 0287-37-0125 Eメール yamajinorio@herb.ocn.ne.jp

社友会室に、45型の液晶テレビを導入しましたので、定例会議や講習会で画面を見ながら勉強出来るので大変効果的になりました。
その模様を紹介します。



大きな画面を見ながらの勉強風景



懇親忘年会を、今回は新たに発足したカラオケ同好会と合同で行い賑やかに盛り上がりました。

ゴルフ同好会

最近のゴルフ同好会活動状況

1. 第65回ゴルフ同好会コンペ

9月26日、那須野ヶ原カントリークラブにて快晴のもと33名の出席で第65回コンペが開催されました。

上位入賞者は下記の通り。

優勝	日置 久義	グロス 98
	HDCP 36	ネット 62
準優勝	安東 郁哉	グロス 96
	HDCP 30	ネット 66
3位	今泉 正男	グロス 85
	HDCP 18	ネット 67
ベストグロス賞	岡本 純一	78



那須野ヶ原カントリークラブにて

2. 第4回企業対抗OBゴルフ大会出場

10月27日28日2日間に亘り、快晴のもと、風月カントリー倶楽部にて第4回企業対抗OBゴルフ大会が会社OB団体戦（グロス）及び個人戦（ネット）で行われ、シャープOB代表として河越泰博、松内幸男、奥村徳男、大橋堅固の4名が出場しました。成績は下記の通りです。

1) 団体戦（2日間36Hグロス戦は9社が出場）

シャープOB 7位（4名のうち上位3名のトータルスコア 556）

2) 個人戦（2日間36Hのネットペア）

13位	大橋堅固	グロス 183
	HDCP 34.8	ネット 148.2
28位	河越泰博	グロス 182
	HDCP 27.6	ネット 154.4
31位	奥村徳男	グロス 201
	HDCP 45.6	ネット 155.4
32位	松内幸男	グロス 191
	HDCP 34.8	ネット 156.2



風月カントリークラブにて

今後の活動計画

来年度計画は3月、5月、7月、9月、11月と年5回のコンペを予定しています。（これまでコンペのない各月は任意に研修会ゴルフを開いていましたが今年度半ばより、他のシニアコンペが多くなりました関係上、開催を取りやめました）現在ゴルフ同好会のメンバーは80名程エントリーされていますが、本年度、実際に参加された方はその半数の40名前後です。もっとゴルフで友好の輪を広げたく、これからゴルフをやりたい方、あるいはメタボ等で医者から適度な運動を薦められている方等、この際、入会されては如何でしょうか。大歓迎です。

募集中

連絡先：大橋 堅固 TEL:0287-682-0753

「歩こう会」

活動状況

第56回 古峰原高原
H20年5月18日(日)



三枚石にて

第58回 切込湖・刈込湖
H20年9月7日(日)



刈込湖にて

第57回 中禅寺湖南岸
H20年7月27日(日)



歌が浜にて

第59回 瀬戸合峡・蛇王の滝
H20年10月26日(日)



瀬戸合峡吊橋にて

会員有志による小パーティトレッキング(サブ活動)

荒海山(栃木百名山)
H20年6月15日(日)



日光 男体山(日本百名山)
H20年8月2日(土)



谷川岳(日本百名山)
H20年10月4日(土)



平成20年度 スケジュール

No	実施月日	行先
第60回	H21年1月18日(日)	多気山(多気不動尊)・懇親会
第61回	" 3月15日(日)	古賀志山(栃木百名山)

問い合わせ 幹事 中村 茂 Tel 0287-44-0097

カメラクラブ



★紅葉の撮影会実施

・恒例の紅葉撮影会を、去る11月19日に実施しました。
今回は、北茨城の「花園溪谷」を中心に、秋たけなわの紅葉や赤く色づいた柿の実などの撮影を楽しみました。



黄葉をバックに赤く色づいた柿

👉7つ滝

花園神社の紅葉👈

★『矢板の四季』観光写真コンテストに入賞！

・第27回コンテストに当クラブからも応募し、2名が入賞しました。
作品は11月3日「ともなり」まつり会場で表彰され、『矢板の工業と物産展』にも展示されました。



佳作 田代宏明「つつじ咲く公園」



佳作 只友将弘「桜の下で一休み」

★「2008美しい風景写真100人展」に入選！

・富士フィルム(株)・隔月刊「風景写真」主催の作品展(プロ写真家20人、アマ写真家80人の作品を厳選)に、当クラブの只友氏の作品が入選しました。作品展は12月16日~26日、富士フィルムフォトサロン(東京ミッドタウン)にて開催されました。



入選作品
「しぶき散る」

新会員募集！

連絡先

幹事： 只友将弘

携帯 090-3248-7309

《カラオケ同好会 発足に当たって》

昨年五月に発足したカラオケ同好会も、会員諸氏のご協力により、順調に活動を重ね、二年目となる本年にはより多くの会員と、更に充実した活動を目指して参ります。

私達はいわゆる団塊の世代と称され、戦後の混乱期を体験していますが、あのバブル景気を盛り上げた事も事実です。食べ物や小遣いも少なかったけれども、明るい未来と夢を追い続け、前向きに頑張った結果、あの貧しい生活に耐えた私たちの底力が、現在のシャープを下支えして来たものと自負しています。

滋賀県出身の私は、子供の頃、琵琶湖周辺によく魚釣りに出掛け、鼻歌を口ずさみながら、昼飯も時々忘れる位、日没まで夢中になって遊んだものです。その頃、演奏だけの音楽が有れば歌手気取りで、流行歌を気持ちよく歌えれば、さぞ楽しいだろうなあと想像していたものが現在はカラオケと言う形で定着し、老若男女が日夜を問わず楽しめる時代となりました。

若返りとストレス解消、自分自身の高揚を探索しつつ是非多数の皆様が気軽に参加される事を会員一同、熱烈歓迎致します。宴会の盛り上げはお任せ下さい。喜んで参上致します。歌の上手下手は二の次、楽しくやる事が一番です。

(会長：福永 勝行)



< 活動経過 と 予定 >

平成 20. 5.20	発足幹事会 (社友会室)
6.10	定例会 (大田原スポーツランド)
7. 8	定例会 (コリーナ矢板)
8. 4	定例会 (コリーナ矢板)
9. 16	定例会 (コリーナ矢板)
10.14	定例会 (コリーナ矢板)
11. 4	定例会 (コリーナ矢板)
12.8~9	忘年会 (鬼怒川ロイヤルホテル)
平成 21. 1.20	定例会 (コリーナ矢板)

『目ざせ満点(一〇〇〇点)パパ』
 十月の定例会からDAM得点の上位一〜三位に粗品をプレゼントする事としました。そこで出席したメンバーから九〇〇点を上回る者が続出し、何とそれ迄の最高得点九八八点を更に上乗せし、満点にあと五点と迫る九九五点が出ました。多分、全国的にも不滅の記録となりそうです。

カラオケ上手の皆さん！
 是非 一〇〇〇点にチャレンジしてみてください。



同好会メンバー



定例会活動状況



< 入会申込・問合せ先 >

会 長： 福永勝行 (TEL) 0287-44-1109
 事務局： 青木正和 (TEL) 0287-44-1332

新入会員の紹介



会員番号 四二八二
貝塚 恒夫
一九四八年五月十三日

五月十三日を以て社友会栃木支部に仲間入りをさせていただきました。宜しくご指導ご鞭撻のほどお願い致します。

現在は、写真や絵画(日本画・油絵)と在職中充分に出来なかつた趣味に身を任せています。また、詩の創作の為、上越・茨城の詩の先生方、仲間と交流を図つており下野新聞のしもつけ文芸に投稿(時々掲載されます)して降ります。処女詩集『若き日の残照』を昨年の五月に発行致しました。今後とも詩の創作に傾注し第二詩集が発刊出来るよう精進したいと思っておりますので宜しくお願い致します。



会員番号 四三三一
森 利雄
一九四八年四月六日生

この度、シャープ社友会に新規会員になりました。今後とも、よろしくご指導、ご鞭撻の程お願いします。尚、現在も引き続き関連会社に勤務しております。一日一日を、大切に、邁進したいと思ひます。



会員番号 四二八五
荒田 英治
一九四八年四月十三日生

退職して栃木に帰り、今後エコ生活をしようとして「オール電化」に切り替えました。シャープの太陽池4・5KWを屋根に載せ、エコキュート・IH導入、現在快適な毎日を過ごしています。



会員番号 四三三一
佐藤 壽行
一九四八年六月一九日生

六月に皆様の仲間に加えて頂きました。今後ともよろしくお願い致します。趣味：囲碁、毎週金曜日午後六時から矢板公民館で対局しております。



会員番号 四三三一
赤羽 友樹
一九四八年七月九日生

この度、入会しました赤羽と申します。私は七月九日にシャープ・ドキュメントシステム(株)を無事定年退職致しました。入社以来三十八年間に亘り事務機(OA)機器のサービスマンテナンス部門にて業務をさせて頂き、その間、重要な体験や経験を積む事が出来ました。これもひとえに諸先輩方々のご指導のお陰と感謝致しております。



会員番号 四三三三
鈴木 実
一九四八年七月一五日生

昨年の五月に初孫が誕生致しました。現在は、孫の子守と普段でできなかった家の片づけをしながらのんびり過ごしています。今春より収穫の喜びと健康の為に家庭菜園に挑戦しようと思っております。これから社友会の一員として末長くお付き合いを、させて頂きたいと思っています。支部長様はじめ会員の皆様には何卒宜しくご指導の程、お願い申し上げます。

本年七月一五日に定年退職しました鈴木 実です。出身地は愛知県ですが、今回退職後の住まいとして、栃木県那須町に引っ越して来ました。しばらくはスロ―ライフで暮らしていこうと思っております。趣味は山登りを四年前から始めました。



会員番号 四三三九
二上 高志
一九四八年七月二六日生

私も無事シャープを卒業することが出来ました。(亀山勤務後約一年ポーランド、六月に帰国)第二の人生は3Gで、ゴルフは九十を切る、ギャンブルは株暴落で?、ゲーディングは山野草と考えています。今後とも宜しく願ひします。



会員番号 四二六七
岩坂 時雄
一九四七年三月二五日生

こんにちは、私、引退して一年半経ちました。今回地区幹事先輩のお計らいにより新規に入会することができ、すごく喜びを感じています。又、会員の皆様とお会い出来るのを楽しみにしていますのでどうぞ宜しくお願いします。



会員番号 四二六八
田代 吉孝
一九四七年七月二九日生

七月二十九日付けで定年退職を迎えました田代です。入社二年目春の昭和四十二年栃木工場設立時に転勤し、国内カラーテレビのプリント基板設計を中心に業務その間AV本部長室五年半、また奈良五年、八尾二年、龜山三年強と延十一年強単身赴任を経験し、色々の人との出会い仕事が出来ましたことは、今にして考えますと私にとって大変大きな財産になっています。
これからの第二の人生は「しなやかに、したたかに、艶やかに」をモットーに楽しく過ごしたいと思っています。皆様の仲間として、今後ともよろしくお願い致します。



会員番号 四二六九
櫻井 泰博
一九四八年八月四日生

現在、ハローワークへ行き就職活動中ですが、年内はゆっくりしたいと思っています。今後共宜しくお願い致します。



会員番号 四二七一
奥田 慶三
一九四八年八月二〇日生

この度、社友会に入会させていただきました。油絵の趣味を中心として、これからの日々を過ごしていくつもりです。これからも皆様の御指導を賜りたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

会員番号 四二七〇
坂上 利男
一九四八年八月九日生
写真 メッセージはありません

慶祝

喜寿のお祝い

435 山口 和夫 8月11日
441 徳田 浩 11月2日

古希のお祝い

1273 鈴木 常忠 7月1日
1309 見形 通 10月3日
1324 山上 哲夫 11月26日
1331 生嶋 良幸 12月3日

表紙説明

日光東照宮の五重の塔、文政元年(一八一八)に再建された高さ三六m、世界遺産「日光の社寺」の一つである。その美しさと共に、塔の中心を貫く直径六〇cmの心柱が鎖で吊り下げられ、建物が揺れても重心は常に中心にあつて耐震・耐風の優れた建造物である。

編集後記

「日光」第二十三号を皆様にお届け出来ず事を感謝します。目塚恒夫様より、「出会い」の印象的な貴重な体験と実績を記して頂きました。
歳を重ねるのは自然の働き。その働きに負けない健康と気持ちをいつも持ち合わせたいものです。
「日光」への投稿を、HP共々お寄せ下さる様いつでもお待ちしております。(仲谷 輝郎)

栃木支部設立二十周年
記念植樹祭



サマーフェスティバル・バザー風景



社会福祉協議会感謝状

